

知床沼野営指定地のモニタリング経過について

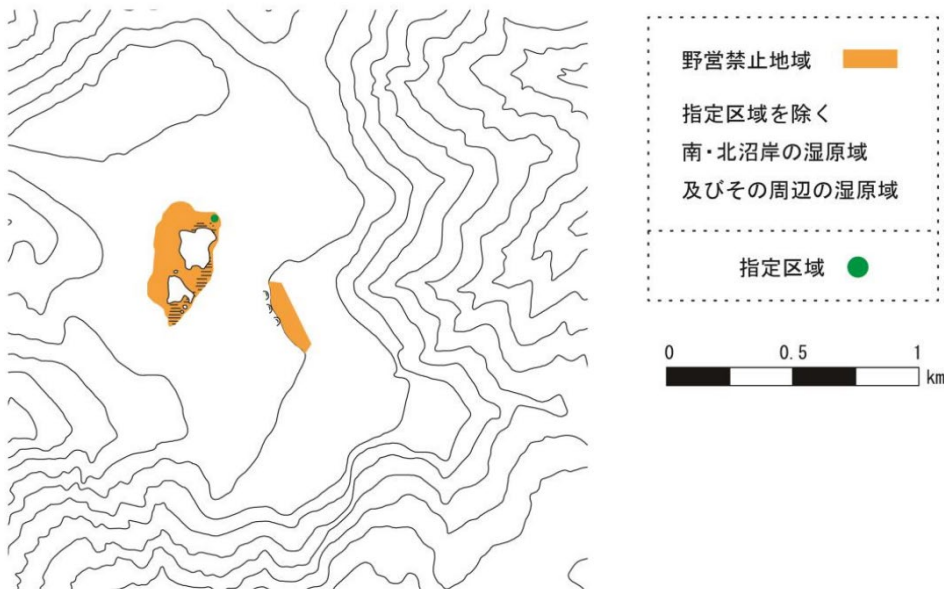
1. 背景

知床沼周辺区域については「知床半島先端部地区利用の心得」において、植生保護のため野営を行わないこととされている地域である。

一方で心得の策定前には知床岳登山における野営地点として利用が見られていた箇所であり、現実的な知床岳登山の行程では知床沼周辺での野営が必要となることから、エコツーリズム戦略に基づく羅臼山岳会からの提案を受け、知床沼北岸の草地の一部を野営指定区域として利用することとし、併せて湿原植生への影響のモニタリングが行われてきた。

令和7年度第2回エゾシカWGにおいて、2025年9月に実施された知床沼周辺の植生モニタリング調査、野営指定区域周辺の植生調査区（SN2）において植生の衰退が報告された（別添1）ことから、近年の羅臼山岳会によるモニタリング状況と知床沼利用状況を取りまとめた。

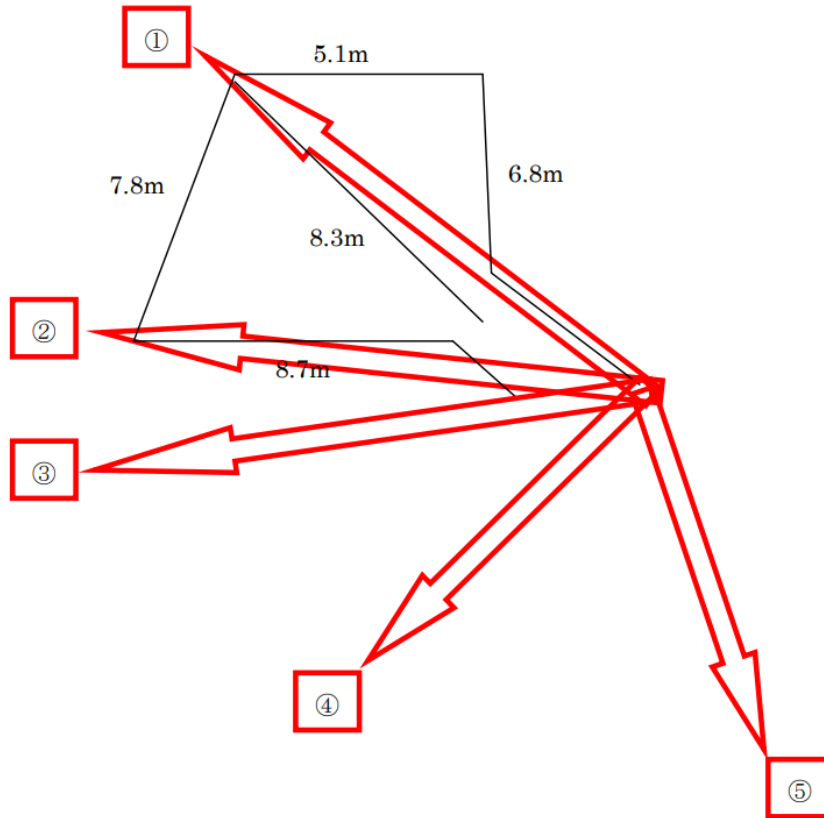
2. 野営指定地について



- ・4人用テント3～4張り分の広さ。
- ・ロープ外側の植生を傷めないよう、十分に注意する。

3. 羅臼山岳会によるモニタリング方法について

- ・ 写真撮影による定点モニタリングを年に1回実施
- ・ 撮影は全て除外区域の入口側のロープ端を起点とし、5方向の写真撮影
- ・ シーズン中の利用状況を把握するため、シーズン終盤の秋に実施



- ①除外区域の内部の状況をモニタリング
- ②除外区域の外側の植生への影響をモニタリング
- ③除外区域の外側での野営状況を把握するため、過去に野営されていたと思われる湿原植生の状況をモニタリング
- ④知床沼までの踏み分け道及び知床岳方面への踏み分け道の状況をモニタリング
- ⑤青沼方向の踏み分け道の状況をモニタリング

4. モニタリング結果（2023~2025）について

①方向



2013年8月



2023年8月



②方向



2013年8月



2023年8月



2024年6月

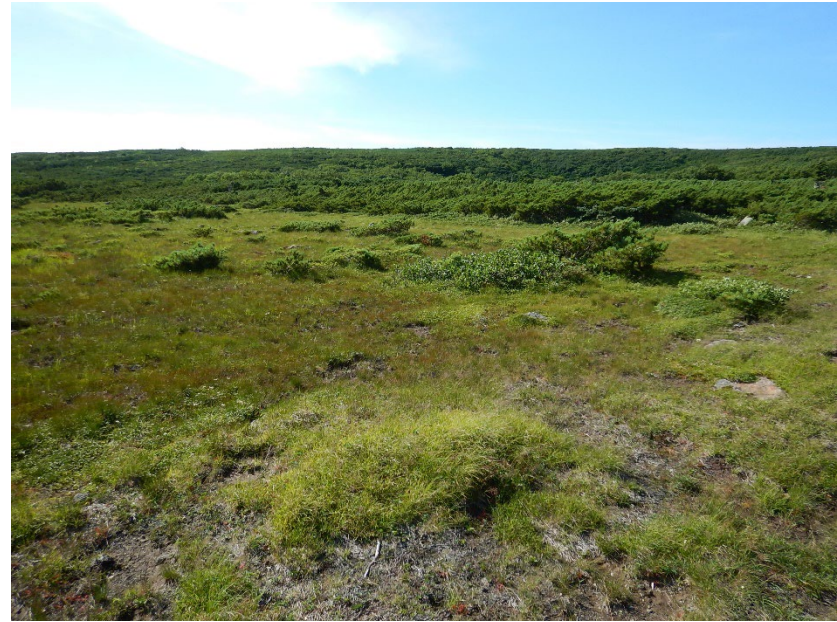
③方向



2013年8月



2025年8月



2023年8月



④方向

2024年6月



2025年8月



2013年8月



2023年8月



2024年6月

⑤方向



2025年8月



2013年8月



2023年8月



20260310 2025（令和7）年度 第2回 適正利用・エコツアーリズム WG

2024年6月

2025年8月

写真撮影によるモニタリングにおいては野営指定地設定の2013年と比較し大きな植生の衰退は見られない。

5. 利用状況について

知床沼方面の利用状況についてはカウンターによる利用状況調査を実施している。

近年の知床沼方面の利用者は年間70~50名程度で推移している。

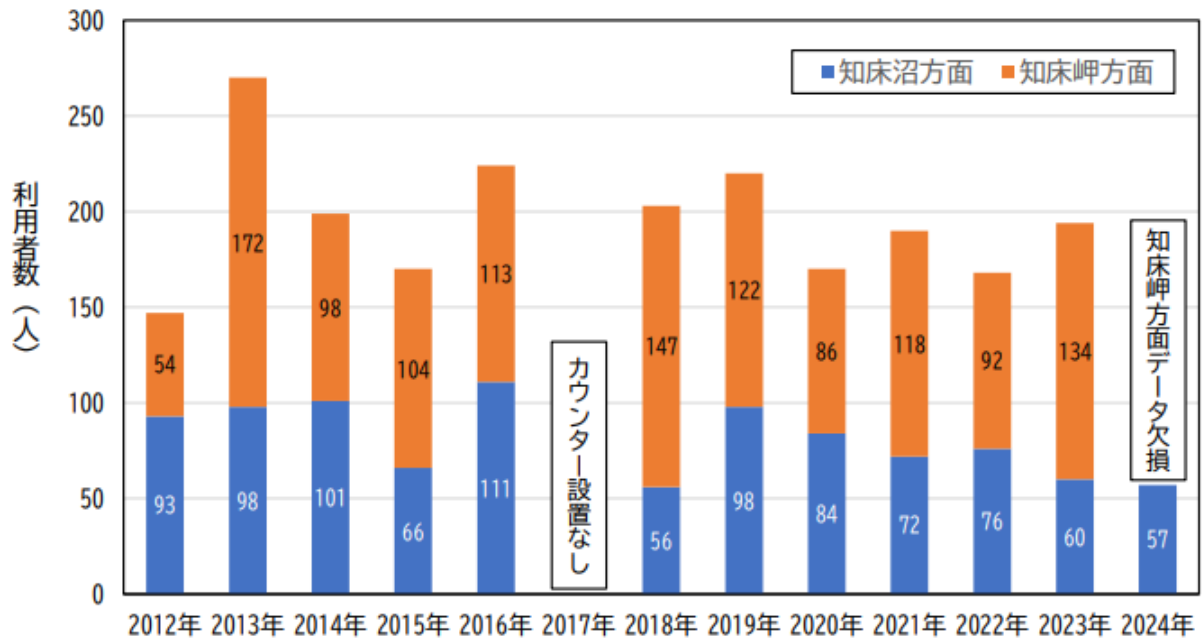


図1.陸路による知床岬、知床沼方面利用者数